

実績

相手先	サイズ	メッシュ数	制作期間	活用方法	
東京都港区周辺	社内	約1,250×1,000mm	20	21日	第20回不動産ソリューションフェアにて自社物件のプロットやインフラ等の都市情報を投影
長野県茅野市	内閣府	約1,250×500mm	8	15日	行政参加のまちづくりワークショップ
北九州市八幡東区	内閣府	約1,500×1,500mm	36	34日	市民参加のまちづくりワークショップ

● 1/2000模型の活用例



東京都港区周辺



長野県茅野市

2分の1地域メッシュとは？

国が地域の統計に用いるため緯度経度に基づき設定したメッシュを標準地域メッシュと言います。2分の1地域メッシュは、標準地域メッシュをさらに細分化した地域区分です。



あなたのまちの2分の1地域メッシュコードは？

- ① 現在、2分の1地域メッシュコードを示す分かりやすいサイトがないため、まずはこちらから第3次メッシュコード（8桁）を調べます。

【地理院地図】 <https://bit.ly/2GGTbQX>



2分の1地域メッシュ

5339-46-00-1

このメッシュ単位で
縮尺1/2000模型を制作

- ② 第3次メッシュコード（8桁）の末尾に1～4（例：左下なら1）を付けた9桁の番号が2分の1地域メッシュコードになります。



森ビル株式会社 都市開発事業部 計画企画部 計画推進部 メディア企画グループ
〒106-6155 東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー私書箱1号
<http://www.mori.co.jp/urbanlab/>



問い合わせフォームはこちら



まちづくりを
進化させる
見える化ツール



1/2000都市模型について

まちづくりを進める中で、行政機関、事業者、近隣住民との合意形成は非常に重要なプロセスです。都市を立体的に表現する都市模型は、都市の構成や建物のスケール、位置関係など都市全体を理解することに役立ち、専門家ではない方々でも都市のイメージの共有が可能です。また、都市模型の最大の特徴は、複数人数が同時に様々な視点で都市を眺め、都市の理解ができることです。

都市模型は目的に合った縮尺で制作され、活用されています。縮尺1/2000の都市模型はコンパクトに広範囲を再現することが可能であり、都市全体を俯瞰することに役立ちます。

森ビルは、長年の都市開発で培った都市模型制作、VR制作、それらを活用したまちづくりシミュレーション等のワークショップ実施の実績を活かし、最先端の3Dプリンティング技術で短期間での縮尺1/2000都市模型の制作を可能としました。まちづくり勉強会や住民説明会などあらゆるシーンでご活用いただけます。



● 用途別の模型縮尺

縮尺	表現対象	訴求に適したテーマ
1/2000	都市	インフラ、地形等を含めた都市構造
1/1000	プロジェクトエリア	プロジェクトと都市・エリアの関係性
1/500	地区・個別プロジェクト	地区計画、個別プロジェクトの構造・計画・特徴
1/100~200	建築	建築計画の詳細
1/50	住宅など小規模建築	住宅の区画・内装・意匠計画など



都市情報を可視化できる

単色模型（白模型）のため、プロジェクターで用途地域や人口密度、ハザードエリア、交通網などの都市情報を模型に直接投影することで、まちへの理解を促進します。2分の1地域メッシュ単位で模型を制作・管理しているため、すでに世の中にある様々な都市情報や統計データとの連携ができます。

利用イメージ

公聴会

地域住民の意見交換の場のコミュニケーションツールとして活用できます。

住民説明会

再開発が確定したエリアの説明会において、地域住民にわかりやすく説明し、意見交換を可能にします。

まちづくりワークショップ

住民とのまちづくりワークショップで使用することで、まちづくりを推進するエリアの現状把握、課題整理などに役立ちます。

教育（小・中学校、高校、大学）

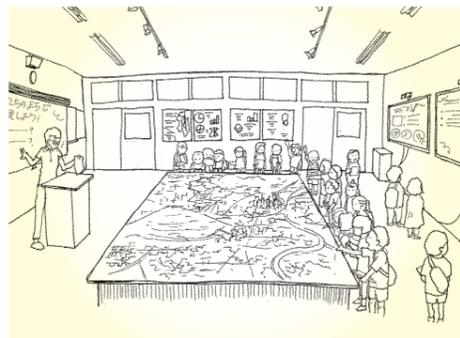
地域の子供たちの社会学習の一環として、地形や土地利用、交通や公共施設のなどの場所、その他の様子などの観察ツールとして活用できます。自分たちが住んでいるまちへの愛着、関心向上につながります。また、子供向けのワークショップなどのプログラム開発も可能です。

イベント展示会

移住者説明会や地域観光展示会など、様々な展示会でまちを紹介・アピールするツールとして活用できます。

まちの広報ツールとして

区役所や公民館など、住民が集まる場所に展示することで、まちの広報活動に利用可能です。都市模型は世界各都市の市役所やホール、展示施設にて展示され、住民への都市の理解促進、都市のマスタープランなどの紹介、観光資源として活用されています。



特徴

■ 持ち運び・保管が楽

制作単位が約25cm×25cmで、樹脂を素材とするため、軽量で持ち運びやすく、耐久性に優れ、水洗いが可能です。

■ 模型の管理が容易

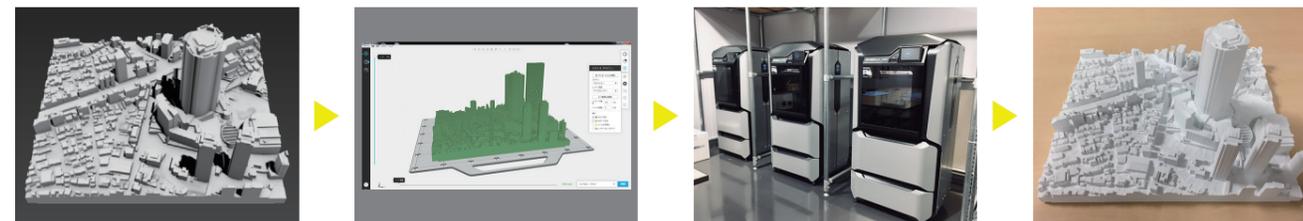
2分の1地域メッシュ単位で模型を制作・管理しているため、模型の制作範囲の検討や拡張、入れ替えなどが容易に管理可能です。

■ 複製が容易

一度3Dデータを制作すれば、複製やスケール変更も容易に対応可能です。

制作方法

1. 3Dデータ作成 2. 3Dデータ調整 3. 3Dプリンタ造形 4. 仕上げ・完成



- 単位は2分の1地域メッシュ
- 再現度は2パターン（LOD1/LOD2）

LOD (Level of Detail) とは？

ディティールの違いによるモデルの再現度のことを言います。



LOD1

建物形状を【階数×一定の階高】の高さで立ち上げたデータを使用します。単純形状の低層建物が多い地域に適しています。

※エリアによっては航空写真データ（縮尺1/10000、10cm解像度程度の単写真画像）をご提供いただく必要があります。



LOD3 建物の開口部や屋根形状まで表現します。

LOD4 建物の内部まで表現します。

LOD2

航空測量により立ち上げたデータを使用します。高層オフィスや商業施設等、複雑形状の建物が多い地域に適しています。

※航空測量に必要な航空写真データ（縮尺1/10000、10cm解像度程度の単写真画像）をご提供ください。

